

ツルハホールディングス(3391)



— 順調なトップラインの伸びで連続の最高益更新へ —

ツルハホールディングスが14日に発表した2016年5月期の業績は、売上高が前期比19.8%増の5275億円、営業利益が同16.5%増の313億円となり、売上高、営業利益とも会社計画を上回り、営業利益は過去最高を前期に続いて更新しました。

売上高は、中四国を地盤とするレデイ薬局の子会社化に加えて、110店舗を超える新規出店、さらに4.3%増という高い既存店売上高の伸びもあって2割近い増収となりました。そして営業利益は特別賞与など一時的な費用増(22億円)を吸収して二桁の増益を確保しています。

ツルハホールディングスでは、食品の導入と拡充を進めています。これが客数増につながり、さらに買い上げ点数の増加に結びついています。新たに食品を導入する店舗は前期でほぼ一巡したことから、今期はいち早く食品を導入した初期店舗での食品部門の改装・拡充を図る計画です。

こうしたなか今期は125店舗の新規出店(純増102店舗)に加え、2.2%増の既存店売上高の伸び(上期1.7%増、下期2.7%増)を見込み、売上高が前期比10.5%増の5830億円、営業利益が同18.4%増の371億円となる見通しで、営業利益は連続で最高益を更新する見通しとなっています。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会